

の図書室の『開放政策』を是非とも実施して欲しい。私が内地留学を終えて最も困ってしまうのが、論文を見る機会が少なくなってしまうことである。

以上のような論議は、「天文学会年会」にアマチュアも参加しなければ、始まらないだろう。『学会の定款問題』などは、学会員の全体にかかわっていることである。しかし、年会の開催日がいつもウィークデイでは、アマチュアにとって傍聴も難しい。ついでに口をすべらせてしまえば、地質学会で行なわれている評議委員選出のように、「大学」、「小・中・高」「研究施設」および「民間企業」の各部門から、人数枠を指定して委員を選ぶことも考えられるのではないか（問題点も多々あるが）。

## 8. 科学行政の貧困

私が天文台で驚いたのは、必ずしも研究だけに没頭できる『象牙の塔』ではないと言う実感である。いままで遠くから見ると、貪欲に観測し、次々と論文を書き、大型計算機をあやつり、最先端の問題について常に議論をたたかわせているように思っていた。ところが、意外に会議が多く、雑用事務のようなもの（これもアマチュアにすれば天文活動のうち）で、落ち着いて研究できる時間は少なそうである。実際、そこにアマチュアへの指導が入り込める時間などないように思える。また台内には、大学院生やオーバードクターとおぼしき人も意外なほど多く、日本の科学行政の一端を垣間みたような気がした。

地方大学にはどこにも地質学教室はあるが、天文学教室はない。天文好きの高校生が大学で専門的に勉強したくても、限られた大学にしか天文学科はない。一方、大学のサークル、市や町の単位で、アマチュアの天文同好会はどこにでもある。天文関係の雑誌は数多く発行されているが、その内容は似たものばかりである。政府の一億円ばらまき政策のおかげか、公立の科学館の建設ラッシュが続いている。そこには、プラネタリウムが設置され、人工の星空を子供たちに見せている。科学行政の狙うものは何なのだろうか。本当に天文学の底辺は広いのだろうか。

## 9. おわりに

それでも、プロのみなさん、「少しだけアマチュアのために時間をさいてください」。直接、私たちに語りかけて下さい。本当の底辺は確実に広がると思います。自分が星を眺めていることが「サイエンス」につながらなくても良いと考えているアマチュアは大勢います。むしろ、それがアマチュアの本来の姿であると思います。しかし、背伸びをしたいアマチュアが「天体写真マニア」のなかに埋没させられていることも事実です。アマチュ

アに辛口の批評をし、より高い次元をめざせるような指導を望んでいます。

内地留学で私自身が学んだことは、今までの私の20年間のアマチュア活動以上のものがありました。床の間に飾るだけの存在であったPASJに自らの論文が好運にも掲載されたことで、ミニチュアの世界で自己満足を得ていたのとはまったく違った満足感があります。アマチュアのピラミッドの頂点が、自分の観測データをプロに使ってもらうことであるとすれば、いささか寂しすぎます。「天文学に貢献すること」がアマチュアの目標になったとき、天文学はさらに素晴らしい科学の分野になると思います。

我が国が経済力、人口の割に天文学のための施設、スタッフ、研究費がきわめて少ないことがよく言われます。しかし、天文学の底辺が本当の意味で広がることによって、プロもアマチュアも非常に多くのものを得ることが出来ると思うのです。

最後に、指導教官の渡部潤一先生、ならびに1年間いろいろいろとお世話になった国立天文台の諸先生方にお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 参考文献

- A'Hearn, M. F. et al. 1985, Nature, 324, 649.  
 Clark, B. et al. 1986, ESA SP-250, 3, 353.  
 Cosmovici, C. B. et al. 1988, Nature, 332, 705.  
 磯部秀三, 1990, 第4回天文教育研究会集録.  
 Suzuki, B. et al. 1990, Publ. Astron. Soc. Japan, 42, L93-L97.

## お知らせ

### 「ブラックホール天体物理学の研究」研究会報告書 プレプリント

天文月報3月号で案内致しました上記基礎物理学研究所短期研究会の報告書プレプリントが出来ました。入手希望者は下記の所まで連絡下さい。なお、これは「素粒子論研究」1991年10月号 (Vol. 84, No. 1) に掲載される予定です。また、 $\text{LATEX}$ で編集された原文の希望者は3.5または5インチのFDをお送り下さい。コピーして返送いたします。これは今後研究会集録等の $\text{LATEX}$ による編集作成に役立つかと思えます。

〒023 岩手県水沢市星ヶ丘町 2-25

国立天文台理論天文学研究系

Tel. 0197-24-7111 (249)

Fax. 0197-22-2141

岡本 功